



# 隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校  
学校だより No38  
文責 芹川博文  
2月13日(金)

## 先輩たちの思いを受け継ぐ

～ 朝ボラの「バトン」が5年生に渡されました ～



明らかに人数が多く賑やかな朝ボラの様子。6年生から5年生へ「バトン」を引き継ぐ日でした。隈府小に長年続く6年生による朝の清掃活動。これまでの校長先生に伺うと、朝ボラは少なくとも25年以上、「引き継ぎ式」も10年以上は続いているそうです。まさに隈府小の伝統の一つです。代表で発表した児童の言葉のとおり、「きつい」と思う日も多々あったはず。しかし、誰かのため、何かのために汗を流すことや、仲間と共に頑張ることは、貴重な体験となることでしょう。

校舎に戻った6年生の一人が「俺たち、たいぎゃがんばったばい」と、言っていたそうです。

僕たちは、隈府小の先輩たちから、暑い日も寒い日も行ってきた朝ボラを受け継ぎました。きついと思った時もあるけど、今きれいな学校で過ごせているのは、今まで朝ボラを行ってきた先輩たちのおかげです。5年生の皆さんも、きれいな隈府小を守ってください。

6年 菊川 虎之助さん

6年生がこれまで行ってこられたボランティア活動を、これからは私たちが引き継ぎます。これまで学校をきれいにしてくださってありがとうございました。5年 高田 帆乃夏さん、中原 茉さん

## 「SNSにSOS」～ 2月19日(木) 菊池っ子60運動講演会 ～

当時は「普通」だったことが、後で考えると「普通でない」と分かることがあります。例えば私が高校生の頃までは、一家に1個は灰皿があるのが「普通」でした。我が家では誰もタバコを吸わないのに、タバコを吸う人が来た時に灰皿を出していました。それがマナーでした。もちろん家じゅう煙だらけ。次の日までしっかりこたつ布団などに染み込んでいました。「受動喫煙」という認識もない、昭和の頃の話です。

今、SNSの若者の精神疾患への懸念から、オーストラリアが16歳未満の法規制をしました。規制の波は、フランス、ノルウェー、イギリスなどにも広がっているそうです。私自身も、スマホを使ってちょっと調べようとして、ついつい時間が過ぎてしまい、その「危うさ」を感じることがあります。成長途中の子どもにとってはなおさらでしょう。子どもたちの脳や心に、どんな影響があるか解明されないまま生成AIなど、デジタルの波は次々と押し寄せてきます。

アプリでも流していますように、来週木曜日の夜、「子どもの育ち・学びと遊びの可能性」と題して、菊池っ子60運動の講演会があります。立ち止まって考える良い機会と思います。

## 「寒すぎて言葉が出ません」～ 冷え込んだ朝 登校してきた児童の言葉 ～

月曜日の朝は特に厳しい寒さでした。低学年児童に「おはよう」と声を掛けると、「寒すぎて言葉が出ません」との返し。なかなかの真理だと思いました。気温が寒い時もそうでしょうが、「心が寒い」時も言葉が出にくいもの。「挨拶もできん」とも言えますが、心を温める一言や眼差しが、その人の言葉や笑顔を引き出すきっかけになるかもしれません。大人になっても思い当たります。

この日は、雪をかぶるパンジーと、外で遊ぶ子どもの姿から元気をもらう朝でもありました。

